

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）  
令和3年度採択テーマ  
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
山地土砂動態シミュレーションにおけるデータ同化手法の検討 (研究期間：R3年度～R5年度)	京都大学 准教授 宮田秀介	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>山地流域の土砂動態予測において、ひとたび斜面崩壊や土石流などの土砂生産事象がおこると、シミュレーションの境界条件である河道への土砂の供給は大きく変動するが、その情報を現地で逐一取得できない点が課題として残っている。一方で、現地観測の成果が必ずしも将来予測や計画に十分活用されていない面もある。そこで、斜面から河道への土砂供給条件を流砂水文観測データから逐次設定するデータ同化手法の適用を検討した。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究では、岐阜県足洗谷観測流域を対象に、これまで観測・蓄積された流砂水文観測データを用い、データ同化手法を取り入れた山地土砂動態シミュレーションを提案した。一義的に決まるシミュレーション結果に、精度も含めて幅を持った観測結果を対比して、最適な条件を探索するという考え方を導入したことが大いに評価出来る。</p> <p>今後は、データ同化システムの構築に向けた検討を進めると共に、流域特性の影響を踏まえた砂防事業への実装に向けた検討を進めていただきたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い